

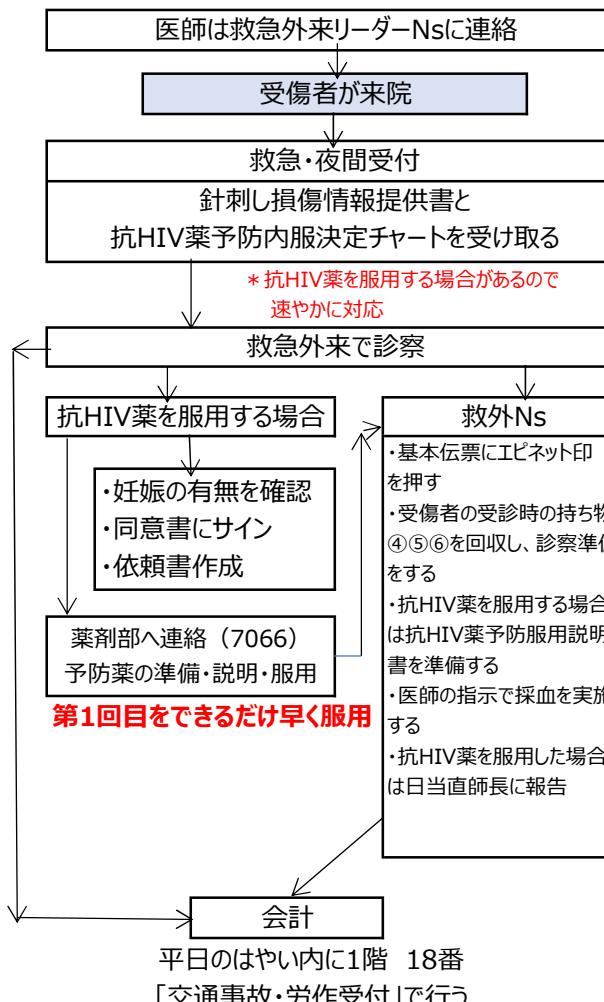
抗HIV薬の内服は可及的速やかに（可能であれば2時間以内）

一般医療機関・受傷者の対応



* 救急・夜間受付に針刺し損傷情報提供書と抗HIV薬予防内服決定チャートを提出する

苫小牧市立病院



感染性体液とは

血液、血性体液、精液、膿分泌液、脳脊髄液

関節液、胸水・腹水、心囊液、羊水

以下のものは、外観が非血性であれば
感染性なしとする

便、尿、鼻汁、痰、唾液、汗、涙

必要書類3通

針刺し損傷情報提供書

必ずご持参ください

その他下記書類⑤⑥

受診時の持ち物

- ①苫小牧市立病院の診察券
- ②マイナ保険証または資格確認書
- ③お薬手帳（あれば持ってくる）
- ④針刺し損傷情報提供書
- ⑤抗HIV薬予防内服決定チャート
・記載しておく
- ⑥抗HIV薬予防服用同意書
・服用する場合に記載する

診察医師

- 1.針刺し損傷情報提供書を確認
- 2.受傷者の血液感染症の有無を調べる
- 3.曝露源の血液感染症の有無を確認する
*自施設で検査している場合は、後日データを確認
- 4.抗HIV薬の緊急内服の必要性を判断する
 - ・抗HIV予防内服決定チャート確認
 - ・女性は妊娠の有無を確認
 - ・最高3日分まで
 - ・抗HIV薬予防服用同意書・依頼書記載
 - ・抗HIV薬予防服用説明書で説明し、渡す
 - ・処方：薬剤部に連絡
- * 服用する場合は第1回目をできるだけ早く服用
- 5.HBs抗体がない場合は、ワクチンやHBIGの検討
- 6.次回受診、抗HIV予防薬を用いる場合は
内服期間についても説明
- * 基本的な服用期間は4週間(28日間)
- * 採血オーダー
- <オーダー入力方法>
- 1.検査→針刺しセット(職員・院外)の選択
(血清保存1年間)
- 2.HIV予防薬内服者はHIV内服セットオーダーを追加

日当直師長：平日対応内容

抗HIV薬：感染制御室に使用したことを連絡

会計：1階「交通事故・労作受付」に報告する

* 診察にかかる費用は、自費扱いとし、当院の請求に基づき、事故が発生した医療機関が支払う